

# 宮城県内に生息するマダニの病原体保有状況調査

研究期間: 令和4年度

宮城県保健環境センター 微生物部

## 背景

- ・マダニ媒介感染症はマダニが吸血するときにヒトへ感染させる
- ・国内のマダニ媒介感染症は増加傾向
- ・特に重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) はマダニ媒介感染症の中で致死率が高い (27%)
- ・過去の調査で宮城県内でSFTSウイルスを保有したマダニを検出

## 目的

- ・動物吸血マダニのマダニ種の確認
- ・マダニ媒介感染症の病原体を保有するマダニが存在するか、現状を把握する



## 方法

動物吸血マダニを粉碎し、マダニと病原体の遺伝子を抽出し検出する

## 成果

### ■マダニ種の確認

採取場所等 マダニ種	石巻地区		河北地区	丸森地区	動物病院	合計
	シカ	ヒト	シカ	イノシシ	イヌ	
フタトゲチマダニ	131	1	17	0	0	149
オオトゲチマダニ	118	0	77	0	0	195
キチマダニ	5	0	1	27	2	35
ヤマトマダニ	1	0	3	0	3	7
ヒゲナガチマダニ	1	0	2	0	0	3
不明	1	0	0	0	0	1
合計	257	1	100	27	5	390

### ■マダニの病原体保有状況調査

- ・SFTSウイルス 検出せず
- ・日本紅斑熱 検出せず
- ・ボレリア属菌 (ライム病・回帰熱) 検出せず
- ・リケッチア属 (*Rickettsia* sp.) 2個体  
(*Rickettsia canadensis*) 1個体

ヒトへの病原性は  
確認されていない

## まとめ

今後も調査を実施し、マダニ媒介感染症の感染リスクの低減に努めたい